

2012年12月20日
株式会社オールアバウト

【生活トレンド研究所レポート】
親子が思う“終活”にギャップがある可能性が！？
「親の“終活”に関する調査」を実施
～自分の親の「終活」を認知している子どもは約1割～
～親の死亡時に困りそうなのは、「死亡を伝えて欲しい人の連絡先が不明」～

株式会社オールアバウト(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 兼 CEO:江幡哲也)が運営するマーケティング・チャンネル「生活トレンド研究所」は、第四弾のレポートとして、All About『相続』ガイドの加藤昌男氏を研究員ガイドに迎え、「親の“終活”」に関するアンケート調査を実施しました。

調査協力は、株式会社マクロミル。調査期間は2012年12月5日(水)～2012年12月6日(木)、30～50代の両親及び父親か母親のどちらかがご存命中である方900名から有効回答を得ました。

※「終活」とは…「人生の終わりのための活動」の略であり、人間が人生の最期を迎えるにあたってすべきことを総括したことを意味する言葉。主な事柄としては生前のうちに自身のための葬儀や墓などの準備や、残された者が自身の財産の相続を円滑に進められるための計画を立てておくことが挙げられる。

■「生活トレンド研究所」のURL:http://allabout.co.jp/trend_lab/

【調査結果のポイント】

1)	<p>子ども世代の“終活”認知は32.2%／一番高いのは「50代女性」(42.7%) 「言葉だけ知っている」を含めると69.9%が“終活”を知っているという結果に</p>
2)	<p>親が“遺言書”を用意しているかどうか知っているのは9.5% “遺言書”を用意して欲しいと思う人は49.8%と、約半数となった</p>
3)	<p>親が“終活”をしていることを知っているのは10.4% また、「自分たちで整理するから“終活”の必要はない」と考える人は25.2% 「万が一の時のためにしておいて欲しい」人は約半数の49.3%だった。</p>
4)	<p>“終活ギャップ”にご用心！ 親が亡くなった際に困りそうなのは、預貯金や保険の他に、 「死亡を知らせて欲しい人とその連絡先について知らない」が上位に 「葬儀関係の希望について知らない」も、34.2%と他に比べて高い数値となった。</p>
5)	<p>親に“今後したいこと”は、「ありがとう伝える」がトップ “既にしたこと”は「自分の名前の由来を聞く」がトップ</p>

1) 子ども世代の“終活”認知は 32.2%、一番高いのは「50 代女性」

今回、“終活”の対象となる方々の「子ども世代(30~50 代)」を対象に、「親の“終活”」について調査を行ったところ、“終活”自体の認知度(=意味まで知っている)は全体で 32.2%、特に高かったのは 50 代女性で 42.7%でした。

【グラフ 1】【グラフ 2】

2) 自分の親が“遺言書”を用意しているかどうか知っているのは 9.5%、

“遺言書”を用意して欲しいと思う人は 49.8%と約半数となった

自分の親が“遺言書”を用意しているかどうかについて聞いたところ、「内容まで知っている」「内容までは知らないが用意していることは知っている」が合わせて 9.5%と、1 割にも満たないことがわかりました。性年代別で見ると、「内容まで知っている」のは 50 代男女が一番高い結果となりました。

さらに、“遺言書”について用意して欲しいかどうかを聞いたところ、「思う」「思わない」がほぼ半々という結果になりました。親と同居しているか別居しているかで見たと、特に別居している女性に「用意して欲しい」と思う傾向があることが明らかになりました。

【グラフ 3】【グラフ 4】【グラフ 5】【グラフ 6】

3) 自分の親が“終活”をしていることを知っているのは 10.4%、

また、「自分たちで整理するから“終活”の必要はない」と考える人は 25.2%

自分の親が“終活”をしているかどうかは、「している」が 10.4%、「していない」が 41.8%、「しているかどうか知らない」が 47.8%と、約半数が親の終活について知らないということが明らかになりました。性年代別で見ると、30~40 代の半数近くが「終活をしているかどうか知らない」と回答していました。

また、自分の親に“終活”をして欲しいかどうかについては、49.3%が「万が一のときのためにして欲しいと思う」と回答しているなかで、25.2%が「自分たちで整理するからその必要はないと思う」と回答していました。特に親と同居している 50 代男女にその傾向が強いことがわかっています。

【グラフ 7】【グラフ 8】【グラフ 9】【グラフ 10】

4) “終活ギャップ”にご用心！自分の親が亡くなった際に困りそうなのは預貯金や保険の他に、

「死亡を知らせて欲しい人とその連絡先について知らない」が上位に

自分の親が亡くなった際に困りそうなことについて聞いたところ、「預貯金をしている銀行や口座がわからない(44.3%)」、「どのような保険に入っているかわからない(37.3%)」といった金銭問題に関する項目の他に、「死亡を知らせて欲しい人とその連絡先について知らない(39.4%)」や、「葬儀関係の希望について把握していない(34.2%)」といった項目が上位にあがっていました。

【グラフ 11】

5) 自分の親に“今後したいこと”は、「ありがとうと伝える」がトップ

今回の調査では、最後に「親に対してやりたいこと、既にやったこと」についても聞きました。「既にやったこと」のトップ 3 は、「自分の名前の由来を聞く(46.1%)」、「自分が生まれた時の話を聞く(42.1%)」、「親の若い頃の写真を見る(37.8%)」でしたが、「今後やりたいこと」のトップ 3 は「親に直接ありがとうと伝える(34.4%)」、「親を海外旅行に連れて行く(22.3%)」、「両親の思い出の場所に連れていく(21.8%)」でした。【グラフ 12】

■「相続」ガイド 加藤昌男氏のコメント

「終活」は子の世代にも認知度が高まっているのが今回の調査結果からよく分かります。

遺言を書いている人は 1 割弱とされています。調査結果でも「親が遺言書を用意していることを知っている」人が 1 割弱でしたので、書いている人は子に伝えていることが分かります。

「遺言は感謝の手紙」です。遺言は、書く人にとって経済的なメリットはありません。それでも遺言を書くというのは、財産を渡す人に感謝の気持ちがあるからです。

よく、子の側から遺言を書いてもらうにはどうしたらいいのでしょうか？ と相談を受けます。「遺言は感謝の手紙」ですから、書いてもらうには親孝行をすることです。一緒に旅行に行ったり、食事をしたりして多くの時間を一緒に過ごすことです。

「Q7. 親が亡くなった際に困りそうなこと」で、第 1 位が「預貯金をしている銀行や口座がわからない」とありました。しかし、あまり心配は要りません。実際には、相続が発生すると、貴重品入れの中に、通帳や証書がありますので、それを手がかりに残高証明をとれば、財産の額は把握できます。

それよりも、「死亡を知らせて欲しい人とその連絡先が分からない」方が問題です。

これは、本人でないと分からないことですし、バタバタした中で行なわなければならないことなので、知らせたい人とその連絡を聞いておくことは必要です。葬儀後に、バラバラと自宅を訪ねられるのも困るとい意見もよく聞きます。

これから「終活」をしようとされている方は、こういった「困ること」などを参考にされると、親子間でのギャップもなくなるのではないのでしょうか。

ちょうど、お正月でご実家に帰る人も多いと思いますので、今年の正月は、今後についてじっくり話してみるといいと思います。

■調査概要

- ・調査期間： 2012 年 12 月 5 日(火)～2012 年 12 月 6 日(水)
- ・調査対象： 30 歳以上 60 歳未満の男女(マクロミルモニタ会員)
- ・有効回答数： 900 件
- ・属性： 30 代男女 300ss、40 代男女 300ss、50 代男女 300ss
- ・調査方法： インターネットリサーチ
- ・調査機関： マクロミル

「生活トレンド研究所」について http://allabout.co.jp/trend_lab/

「生活者のトレンドと未来をひも解くマーケティング・チャンネル」であることをミッションに掲げ、総合情報サイト「All About」で活躍する住宅、マネー、健康、グルメ、一般消費財等、様々な領域における専門家(=ガイド)が研究員となって、企業と生活者がより良い関係性を構築するための調査、市場分析を行なっていきます。その分野における高い専門性はもちろんのこと、生活者・実務家としての考えや想いも兼ね備えた「All Aboutガイド」ならではの分析・考察を重ねることで、表面的な定量データでは捉えられない新たな潮流や課題を浮き彫りにしていきます。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先：

株式会社オールアバウト 広報担当： 柏原、大竹

TEL: 03-6362-1309 FAX: 03-6682-4229 E-mail: pr@staff.allabout.co.jp

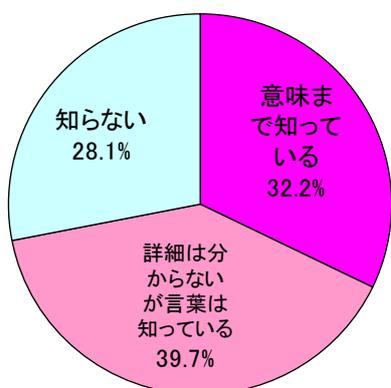
《引用・転載時のクレジット表記のお願い》

本リリースの引用・転載の際は、必ず「生活トレンド研究所の調査」である旨を示すクレジットを明記していただけますようお願い申し上げます。

【参考資料】

■調査結果グラフ

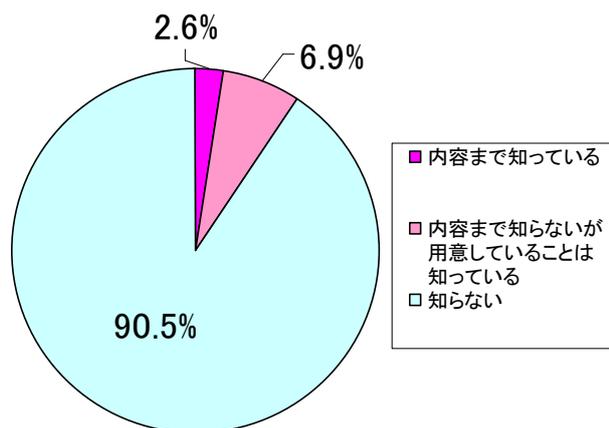
【グラフ1】「終活」の認知度(全体)



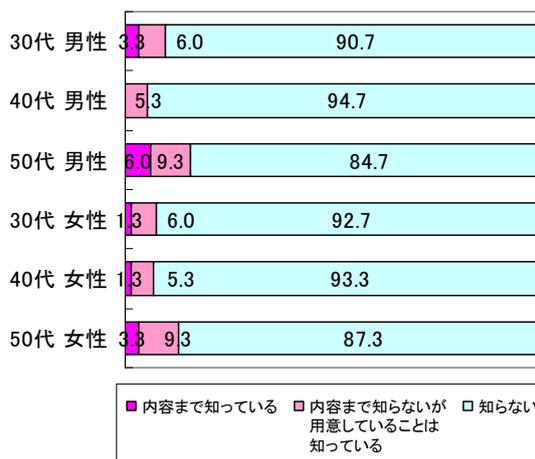
【グラフ2】「終活」の認知度／性年代別・%



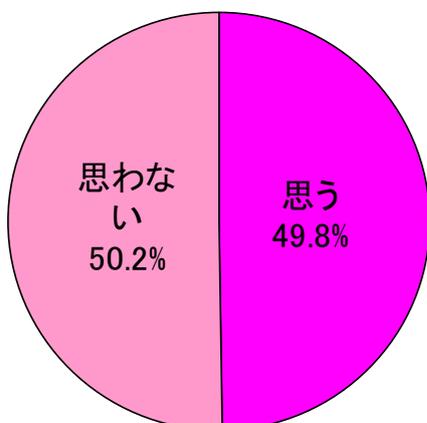
【グラフ3】自分の親が「遺言書」を用意しているかどうかの認知度(全体)



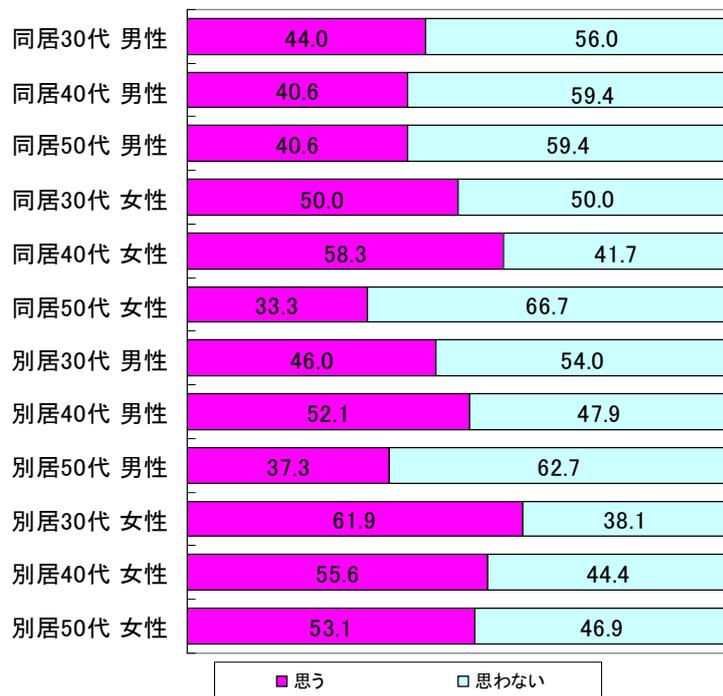
【グラフ4】自分の親が「遺言書」を用意しているかどうかの認知度／性年代別・%



【グラフ5】自分の親に「遺言書」を残して欲しいかどうか(全体)



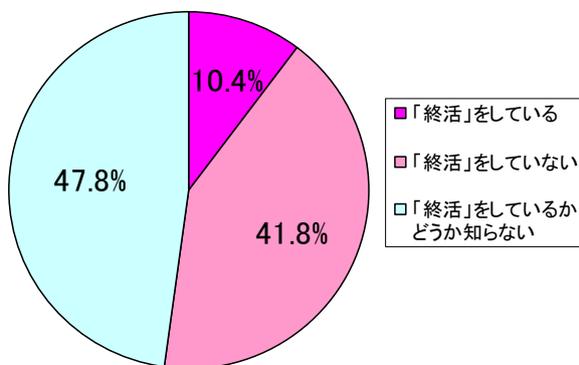
【グラフ6】 自分の親に「遺言書」を残して
欲しいかどうか／別居・同居、性年代別、%



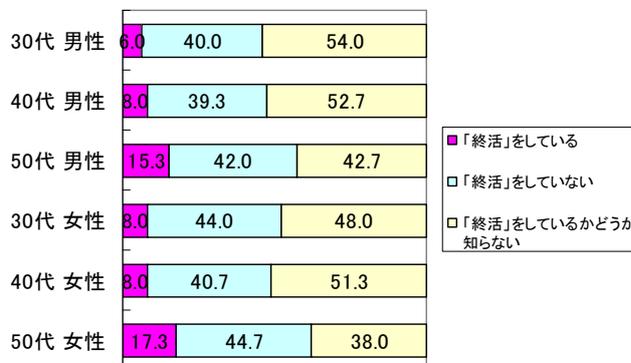
<n数>

同居	30代 男性	50
	40代 男性	32
	50代 男性	32
	30代 女性	32
	40代 女性	24
別居	50代 女性	21
	30代 男性	100
	40代 男性	117
	50代 男性	118
	30代 女性	118
	40代 女性	126
	50代 女性	128

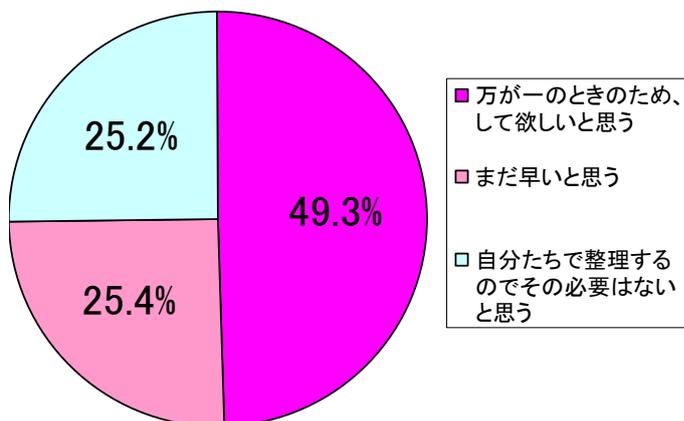
【グラフ7】 自分の親が「終活」をしているか
どうかの認知(全体)



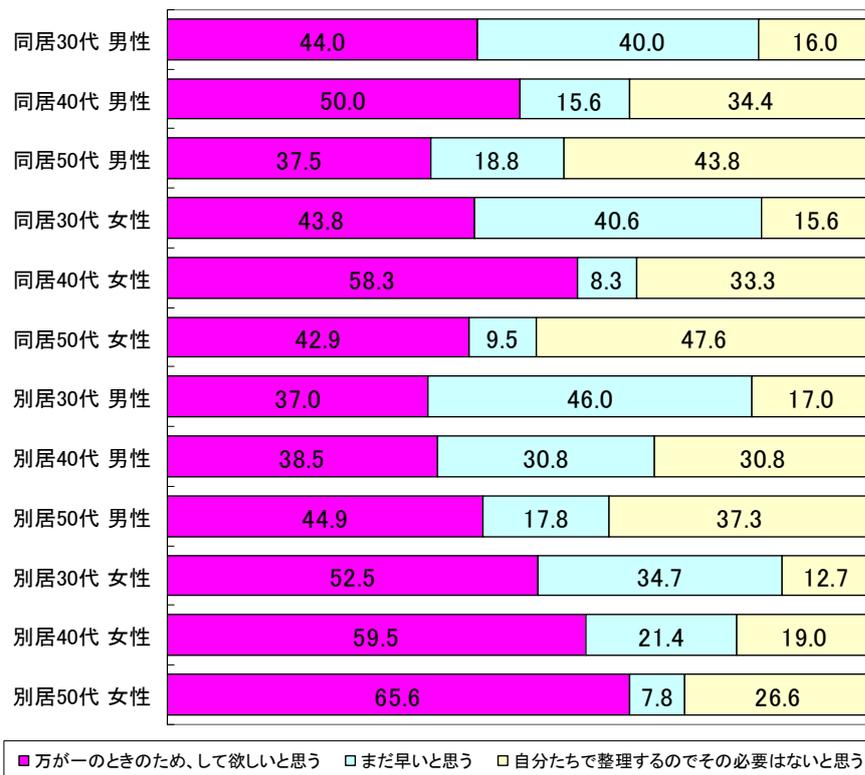
【グラフ8】 自分の親が「終活」をしているか
どうかの認知／性年代別・%



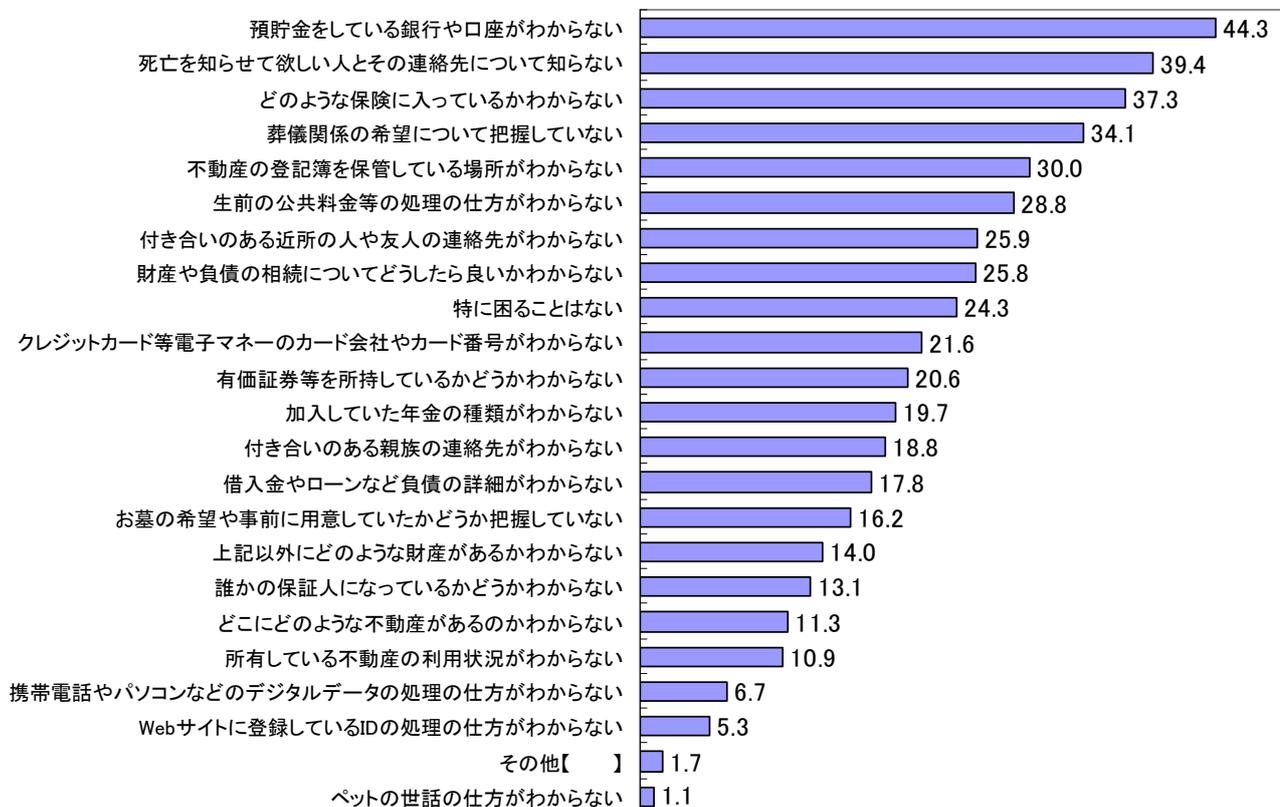
【グラフ9】 自分の親に「終活」をして欲しいかどうか(全体)



【グラフ10】 自分の親に「終活」をして欲しいかどうか／別居・同居、性年代別、%



【グラフ11】 自分の親が亡くなった際に困りそうなこと(全体)



【グラフ12】 現在ご存命中の親に「既にやったこと」、「今後やりたいこと」(全体)

